

令和6年7月30日

各位殿

令和7年度 全国高校総体を終えて

陸上競技部顧問

広島県ホットスタッフフィールドにて、令和7年度全国高校総体陸上競技大会が行われました。大会参加に際しまして、皆様方には多大なるご厚志を賜り、無事参加することができました。心より感謝申し上げ、豊川高校陸上競技部の全国高校総体大会結果を報告いたします。

男子200m

予選 木林悠翔 22秒30 組8位

男子4×100mR

予選 向井ビニシウス、内藤翔真、木林悠翔、巻口周平 40秒45 組5着

決勝 向井ビニシウス、内藤翔真、木林悠翔、巻口周平 42秒50 22位

男子4×400mR

予選 水元空、山科樹輝、高垣圭汰、小川倖周 組5着 3分14秒67（チームベスト）

女子100mH

予選 三好澄果 13秒71 組1位

決勝 三好澄果 13秒78 12位

女子4×100m

予選 弓木野杏純、酒井花菜、渡邊志帆、三好澄果 47秒31 組4着

女子棒高跳

決勝 宮内ゆら 出場

熱中症対策のため、大会3日前に突如競技日程が変更され、準決勝がタイムレース決勝となるなど、異例の大会となりました。陸上競技部としては、6種目21名と史上最多の出場者数で挑んだインターハイです。5日間の大会期間中、これまでに経験のない日程変更や、熱さ、レベルの高さなど、今後の競技人生、高校生活においては財産ともなる貴重な経験を積むことができました。「リレーでの決勝へ」「全国上位入賞」「最高峰の舞台で自己ベスト更新」叶わなかった夢は後輩に引き継がれることとなりましたが、この悔しい思いもまた価値のあるものだと思っております。

ここに至るまで、選手、チームを支えていただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。